

## ＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

### ①地域子ども・子育て支援事業

評価の記載について：（ ）内は人数、  
 順調である=A、どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、順調でない=D

### 3 妊婦健康診査事業

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
A（4人） B（6人） C（0人） D（1人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過不足分（目標値と実績の差）のマイナスがどんどん多くなっているのが気になるが、妊婦検診の助成はありがたい。</li> <li>● 妊婦検診にかかる費用を助成し、受診率が向上するのはとても良いことである。父親の育児参画や、親の子育て力の向上につながるような取り組みがあってもいいのではないかと感じた。</li> <li>● 全国的に自己負担額無償化が進んでおり、宮崎県内でも都城市でも無償化している。宮崎市でも少子化対策のため、そうやっていただきたい。</li> <li>● 無料受診を提案したが、予算がとれないとのことである。</li> <li>● 妊娠が分かっても届け出をするまでは自費だったため、その前の受診（つわりなど）も負担が軽減されるとありがたいと思った。</li> <li>● 人数を出すよりも割合で出した方が子どもの数に左右されずに評価できるのではないか。</li> </ul>

## ＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

### 4 乳児家庭全戸訪問事業

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
A（2人） B（8人） C（1人） D（0人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全戸訪問とあるが、私は5人子供いて5番目だったのでもう大丈夫ですね、とのことで訪問はなかった。本当に大丈夫だから良かったが、多子になることで手が足りず育児ノイローゼになる方も多いと思うので、本当に支援はした方が良い方など見極めるのは重要である。</li> <li>● 会議の中でパーセンテージも示してほしいという意見があったと思うが、同感である。訪問できなかった家庭の理由と、その後のフォローが気になった。訪問の数値だけではなく、効果についても示していただけるといいのではないかと感じた。</li> <li>● 少子化が進んでいるので、実数が減るのは時代の流れであると考えるが、できるだけ早い訪問（特に初めてのお子さんの場合は早期の時期）が必要であると考える。</li> <li>● 私が子育ての折は、ハガキをして、訪問指導を受けた。情報提供の把握困難な現状では、苦勞があると思う。</li> <li>● 私の時は3人とも、パッと来て、パッと帰られた。人によってはその方がいいのかもしれないが、もう少し赤ちゃんの様子を見たり、話を聞いてくれるといいなと感じた。</li> <li>● 人数を出すよりも割合で出した方が子どもの数に左右されずに評価できるのではないか。</li> <li>● 生まれつき障がいを持つてゐる保護者さんには精神的によりそっていただけるとありがたい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

8-(1) 一時預かり事業（幼稚園）

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A（5人） B（4人） C（2人） D（0人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一時預かりのことを私はあまり存じておらず、理解もあまりできていなかった。(利用ルールなど)なので、もうちょっと周知をしていくべきであると思う。</li> <li>● 保護者にとって、とても助かる事業であると思った。</li> <li>● 100%預かれているか。実績をみる限り、数字的には、支援できていると感じる。</li> <li>● 働いているとありがたいのだが、無料で使える家庭がある中、費用が別途かかるのが不公平だと感じる場所もあった。</li> <li>● 利用者数では評価しにくい。需要に対して対応しているかどうかを評価すべきだが、評価しにくい。</li> <li>● 共働きや、ひとり親が多いので、受け入れてくれる所に助かっている。</li> </ul>

## ＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

### 8-(2) 一時預かり事業（その他）

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A（3人） B（5人） C（3人） D（0人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一時預かりのことを私はあまり存じておらず、理解もあまりできていなかった。(利用ルールなど)なので、もうちょっと周知をしていくべきであると思う。</li> <li>● 保護者にとって、とても助かる事業であると思った。</li> <li>● 児童を一時的に預かる事業であるが、保育士・保育教諭が不足しているので、受入が厳しい施設があると思う。</li> <li>● 希望しても預かれない施設があるとのことである。可能な限り、軽減し100%預かれるようになると良いと思う。</li> <li>● 資料の課題に書かれているように、子育て世帯の負担軽減のため、必要な方すべてが利用できる状況を整えていくためには、保育士確保が大きな課題であると思った。保育士不足を解消するための取り組みを、現場・養成校・行政と連携して実施していくことが必要であると感じた。</li> <li>● 地域の人や遠いところからでも預かってくれるところもあれば、月齢によっては預かってもらえない所もあって、園によって差があると感じた。</li> <li>● 児童を一時的に預かる事業であるが、保育士・保育教諭が不足しているので、受入が厳しい施設があると思う。</li> </ul>

## ＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

9 延長保育事業

全体評価結果	「順調である」
評価	意見等
<p>A (6人) B (4人) C (1人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者にとって、とても助かる事業であると思った。</li> <li>● 延長保育については、我々の子育て時代とすると、大変よくなっていると思う。</li> <li>● 使っている家庭はだいたい決まっているようで、それがいいのか悪いのか判断しかねた。</li> <li>● 働き方改革が進み、延長しなくてもいい家庭が増えたのではないかと。数字が多くなればいい事業ではない。少ない方が家庭で過ごす時間が長くなっていいのではないかと。</li> </ul>

## ＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

### 10 病児保育事業

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
A（2人） B（7人） C（2人） D（0人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用の仕方がいまいわからない。人数が少なすぎるのは問題ではあるが、病後児であること、先生人数、施設の大きさで関係があるのは理解できる。もう少し施設を増やしていただけるとありがたい。</li> <li>● 仕事をする親にとって、子どもの急な体調不良は仕事に影響するため必要な支援だとは思いますが、そのような時にさえ仕事が休めないという状況の改善が必要なのではないかと感じた。ワークライフバランスの意識を社会全体で変えていく取り組みも必要であると感じた。</li> <li>● ここ数年、見込みよりも実績が増えている。全国的にも新型コロナウイルス感染の預かり(病児保育利用)も増えているので、検討していただきたい。</li> <li>● 子供が熱を出したりして、体調の悪い時は、大変苦労した事を考えると、非常に改善されていると思う。</li> <li>● 今後もさらに必要な事業であると思う。病児保育を実施する施設が増えることを期待したい。</li> <li>● されているところがどこなのかなど、情報が少ないと感じた。自分が利用できないところも多く、利用するには少しハードルが高いと感じた。</li> <li>● 会社の理解があり、発熱したら保護者も休むということが定着したのではないか。利用者が少ない方がいい事業であると思っている。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

1.2 実費徴収に係る補足給付を行う事業

全体評価結果	「順調である」
評価	意見等
<p>A (7人) B (4人) C (0人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本当に必要な世帯に助成が行われているのか、この助成の事を知らない方の方が多いのではないかと気になった。</li> <li>● おちこぼれなく助成していけると良いと思う。</li> <li>● 今はどの家庭も厳しい経済状況であると思うので、限定的な支援でなく、子どもたちに平等な支援があるとありがたいと思う。</li> <li>● 手帳を持っている子たちは、ある程度助成していただいている。ありがたい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

②推進施策

**推進施策 1 – (1) : 教育・保育内容の質の向上**

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A (4人) B (3人) C (4人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て支援センターなどの子育て支援施設等へも研修の呼びかけを行っていただきたい。</li> <li>● 研修の頻度がどれくらいかわからないと判断できない。幼稚園、保育園によって質のバラつきを感じる。</li> <li>● 保育士等への支援制度は大変ありがたい。しかし、頑張っている先輩保育士等へも支援制度を考えていただきたい。</li> <li>● 潜在保育士の確保について、目標値を達成しているが、保育の質の向上のための支援内容やリカレント教育等の取り組みの充実を図って行く必要があると思う。</li> <li>● 保育士が働きやすい環境（賃金・時間等）を整えないと、もっと保育士離れが進んで、結果子どもや保護者が大変になるのではないかと感じている。研修などいろいろ計画されているのかもしれないが、そもそも人材が足りていないと、参加することが難しかったり、余裕が持てないのではないかと思う。</li> <li>● 研修の参加人数は少ないが研修の回数が減っておらず、内容を職員間で共有できていれば低評価にはならない。保育士不足が解消できれば人数は戻ってくる可能性がある。</li> <li>● 障がいのある児童に対しての教育に力を入れてほしい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

**推進施策 1 – (2) : 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校  
との連携の推進**

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A (5人) B (4人) C (2人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校側との情報共有がうまくいっていないと思う（全国的な傾向）。</li> <li>● 小学校スタートに対し、親のかわりにカリキュラム実施支援まで、していただくのは、頭の下がる思いである。</li> <li>● 内容の充実に向けて、今後更なる連携が必要であると感じている。</li> <li>● 園で手厚くサポートしていても、小学校に上がってそれがぱたりと途切れてしまうと困る子が増えるのではないかと心配になる。</li> <li>● 障がいのある児童に対しての教育に力を入れてほしい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

**推進施策 2 – (4) : 障がい児など特別な支援が必要な子ども  
に対する施策の充実**

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A (3人) B (7人) C (0人) D (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後も支援が必要な子どもは増えると思われる。早期支援、保護者理解につながることを期待したい。</li> <li>● 特別な支援が必要な子どもが増え支援体制の充実が図られていると思う。その一方で、送迎バスに乗れなくなり困っているということを知る機会がある。送迎の体制の充実が求められているのではないかと感じる。</li> <li>● 医ケア児の受け入れはまだ不十分であると思う。</li> <li>● 障がい児の学校支援は、なかなかむずかしいと思う。</li> <li>● 健診でもっと保護者の様子や子どもの様子を見てもらえたらと思う。親として心配していても、マニュアル通りの行動で判断されているようで不安解消されたことはないように思う。</li> <li>● 小学校のアシスタントの数は増えていることは評価できるが、数年前に在籍していた幼稚園保育園に必要だったことがわかる。このことを踏まえて幼稚園保育園のサポートを考え直してほしい。ここから読み取れることを実績に反映すべきである。評価して終わりにならないようにしてほしい。</li> <li>● 保護者に対してよりそってほしい。不安ばかりなので、話を聞いてほしい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

**推進施策4－(1)：妊娠・出産期からの親子の成長への  
切れ目ない支援**

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A (4人) B (6人) C (1人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 妊娠出産産後身体的なものの支援が必要かは目に見えてわかるが、心の方はなかなかかわからないと思う。なのでそちらの支援も考えてほしい。</li> <li>● 父親の育児参画や、親の子育て力の向上につながるような取り組みがあってもいいのではないかと感じた。</li> <li>● 支援を必要とする親子の情報（妊娠中）が出産時、かかりつけ小児科に伝わっていない。</li> <li>● 妊娠が分かっても届け出をするまでは自費だったため、その前の受診（つわりなど）も負担が軽減されるとありがたいと思った。</li> <li>● 人数を出すよりも割合で出した方が子どもの数に左右されずに評価できるのではないか。</li> <li>● 財源の限度があると思う。安心して治療に取り組めるといい。</li> </ul>

＜乳幼児部会 各委員の評価まとめ＞

**推進施策4－(2)：子どもの健康の保持と増進**

全体評価結果	「どちらかといえば順調である」
評価	意見等
<p>A (5人) B (4人) C (2人) D (0人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての項目で90%以上の高水準の達成であると思うが、徐々に数値が下がっている項目もあり、更なる取り組みを希望する。</li> <li>● 全国的には、インフルエンザワクチンへの助成があるのに、宮崎市はないので、検討してほしい。</li> <li>● 高校生も保護者が支払うものが多いので医療費の軽減があるとありがたいと思う。</li> <li>● 1人1人障がいと度数が違うが、安心して治療に取り組めるといい。</li> </ul>